

中野区デジタル地域通貨事業及びコミュニティポイントの実施状況等について

区は、「区内経済・産業の活性化」及び「区の政策・施策の側面的推進」を目的として、令和6年11月から「デジタル地域通貨事業」を開始した。

「区の政策・施策の側面的推進」においては、「ナカペイ」と連動したコミュニティポイントを導入することでウェルビーイングの向上を図るものであり、テーマ(対象とする政策課題)を「スマートウェルネスシティ(以下「SWC」とする)の推進」としている。

このことについて、令和7年度の実施状況及び令和8年度の実施予定である取組について整理したので、報告する。

1 デジタル地域通貨事業の実施状況と今後の取組

(1) 令和7年度の実施状況

- ① 加盟店申請数 1,500店舗(令和8年2月1日現在)
- ② ナカペイアプリ登録者数 81,121人(令和8年2月1日現在)
- ③ キャンペーン(プレミアム付ナカペイ販売)の実施

ア プレミアム付ナカペイ販売

プレミアム率20%のナカペイを発行(1セット5,000円で6,000ポイント付与)

	第1弾	第2弾
申込期間	令和7年6月3日～6月20日	令和7年11月5日～11月26日
販売期間	令和7年7月3日～7月31日	令和7年12月10日～12月25日
申込人数	41,205人	39,557人
最大申込可能 セット数	6セット	4セット
販売予定セッ ト数	200,000セット	78,760セット
申込セット数	228,894セット	152,013セット
購入者数	37,913人	20,059人
購入セット数	212,240セット	76,982セット

イ ダウンロードポイントの付与(予定含む)

令和8年2月3日から3月31日までの期間内にナカペイアプリを新規ダウンロードし、アカウント登録した方に、1,000円分のポイントを付与(先着1万人)

④ 通常チャージ（令和8年2月1日現在）

- ・チャージ金額：19,304,000円
- ・チャージ回数、人数（実人数）：2,050回、1,213人

⑤ その他

利用者及び加盟店を増やすための取組（情報発信、クーポンの発行、アプリの改修、施設使用料の支払い等）や地域の経済効果を高めるための取組（商店街イベントでの活用、店舗からのお知らせ機能利用開始等）を行った。また、歳入確保に向けた取組としてふるさと納税の返礼品にナカペイのポイントを追加した。

なお、こうした取組を含め令和7年度の総括（実施結果の分析等）については、産学官連携事業（ナカペイの経済的効果の検証及び活用に関する提案、研究等）の結果も踏まえ、実績確定後次回以降の定例会において報告を行う。

(2) 令和8年度の実施内容（予定）

① プレミアム付ナカペイの販売

- ・プレミアム率：20%（1セット5,000円で6,000ポイント付与）
- ・申込期間：4月15日～5月13日（1人につき4セットを上限）

※申込数が販売数の上限を超えた場合は、抽選

- ・販売期間：5月27日（当選発表日）～6月17日
- ・販売予定セット数：112,000セット

② マイナンバー認証の導入

マイナンバーカードによる本人確認を完了した方については、通常チャージにおけるクレジットカード利用を可能とする。（下記③の開始予定時期に合わせて導入予定）

③ 通常チャージにかかるポイント還元

- ・還元率：3%
- ・還元上限額：1人あたり1月1,000円
- ・開始予定時期：8月

④ その他

- ・送金機能の導入
- ・バナー広告表示機能の導入
- ・ユーザビリティ向上のためのアプリ改修
- ・加盟店紹介キャンペーンの実施

2 コミュニティポイントについて

(1) 令和7年度実施事業

- ・健幸ポイントを活用した健康づくり促進のための実証事業

※その他、社会福祉協議会が講座への参加ポイント、中野区職員互助会が福利厚生事業でナカペイの活用を行った。

(2) 令和8年度実施予定事業

- ・集合住宅（アパート・マンション等）における防災啓発
- ・自転車安全利用講習会
- ・健幸ポイントを活用した健康づくり促進のための実証事業
- ・コミュニティポイントを活用した健診受診・事業参加勧奨事業

※その他、ファーストバースデーサポート事業における育児パッケージ（商品）への追加、環境行動ポイント、路線バス利用促進策（おでかけポイント）でナカペイの活用を予定している。

【参考】コミュニティポイントの考え方

1 導入の目的

SWCの推進を図り、特に区民の心身の健康増進とコミュニティの活性化（「よりよい生活習慣と楽しい社会参加で、健康に暮らそう」）に向けて、行動変容を促すことを主たる目的として、コミュニティポイントを導入する。

また、この一環として、区民の利便性を向上するとともに、事務の効率化と財政負担の軽減を図り、施設使用料などの支払いや区の給付事業において「ナカペイ」を活用する。

2 期待される（目指す）効果

SWCを推進するツールとして、EBPMを進め、見直し・改善を図りながら、実効性の高い施策や事業を実施することで、健康増進や健康寿命の延伸、社会参画と幸福度を高め、ひいては医療・介護費の適正化につなげていく。また、これらにより軽減された財政負担分を区民等に還元する。

3 コミュニティポイント検討の視点・導入の条件

- ・政策課題に対応する取組を対象とする。

⇒「区の政策課題への対応」×「ポイント付与・利用に適した事業や取組」

- ・EBPMにつなげるため、可能な限り、定量的なデータ（効果）が測れるものを対象とする（毎年度評価と検証を行い、それを踏まえて見直し・改善を行う）。

- ・行動変容を促す観点から、ポイントの獲得条件の設定を熟慮する（ハードルの設定がどの程度効果的かを検討する）。

- ・上記3点に加え、他の事業や取組に対して波及効果が大きいかどうかについても考慮する。